

## 健康栄養学科

### 井澤幸子

B(論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Accumulation of geriatric conditions is associated with poor nutritional status in dependent older people living in the community and in nursing homes	共著	[Epub ahead of print] 2014年 1 月	Geriatr Gerontol Int. 2014 Jan;14(1):198-205.	Hirose T, Hasegawa J, Izawa S, Enoki H, Suzuki Y, Kuzuya M.	本人担当部分：データの整理・入力を行った。
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 特別養護老人ホーム入所高齢者の前向き研究—観察期間1年の入院発生に關与する因子についての検討(口頭発表)	学会発表	2012年10月	第34回日本臨床栄養学会総会 東京	井澤幸子, 広瀬貴久, 長谷川潤, 榎裕美, 葛谷雅文	
2. 介護老人福祉施設入所高齢者の老年症候群の集積と入院, 死亡リスクとの関係(口頭発表)	学会発表	2013年 6 月	第55回日本老年医学会学術集会 大阪	広瀬貴久, 井澤幸子, 榎裕美, 長谷川潤, 葛谷雅文	
3. 特別要豪仁ホーム入所高齢者の前向き研究—MNA-SF を使用した栄養評価の2年後低下に關与する因子について(口頭発表)	学会発表	2013年 6 月	第55回日本老年医学会学術集会 大阪	井澤幸子, 広瀬貴久, 長谷川潤, 榎裕美, 葛谷雅文	
4. 居宅療養高齢者を対象とした MNA-SF による低栄養とアウトカム予測について(口頭発表)	学会発表	2013年 6 月	第55回日本老年医学会学術集会 大阪	榎裕美, 長谷川潤, 広瀬貴久, 井澤幸子, 葛谷雅文	
5. 大学生の食生活とコンビニエンスストアの利用状況について	学会発表(ポスター)	2013年 9 月	第60回日本栄養改善学会学術総会	恒川小百合, 井澤幸子	
6. Factors associated with deterioration of Mini Nutritional Assessment-Short Form status of nursing home residents during a 2-year period (ポスター発表)	学会発表	2013年 9 月	IUNS 20th International Congress of Nutrition グラナダ	Sachiko Izawa, Hiromi Enoki, Jun Hasegawa, Takahisa Hirose, Masafumi Kuzuya	

### 市原啓子

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 免疫組織染色法によるマウス胎児期におけるエンビジンタンパク質の発現	単著	2013年 3 月	心身科学第5巻1号		pp.127-128
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. マウスにおけるエンビジンタンパク質の発現と細胞膜表面における役割について	口頭発表	2013年 2 月	心身科学研究所シンポジウム	市原啓子	

## 上野有紀

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. フェルラ酸の肥満・糖尿病における炎症抑制および酸化ストレス制御に関する研究	学会発表	2012年10月	日本農芸化学会中部支部第165回例会, 名古屋	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	
2. 遺伝子組換え食品と私たちの暮らし	講演	2013年 1 月	平成24年度経営者フォーラム1月定例会, 名古屋	上野有紀	
3. フェルラ酸の2型糖尿病モデルマウスにおける炎症性遺伝子発現への影響	学会発表	2013年 3 月	日本農芸化学会2013年度大会, 仙台	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	
4. フェルラ酸の2型糖尿病モデルにおける慢性炎症抑制機構の解明	学会発表	2013年 5 月	第67回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	
5. 抗酸化指標をベースにした新規機能性食品の研究開発	招待講演	2013年 7 月	「日本を健康にする！」研究会第4回シンポジウム, 愛知県日進市	大澤俊彦, 上野有紀, 望月美佳	

## 宇野智子

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. “治せる”医師をめざす はじめての漢方治療 18肥満・メタボリックシンドローム 19糖尿病	共著	2013年 5 月	診断と治療社	宇野智子, 佐藤祐造	pp.82-91
B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 高齢者糖尿病の漢方治療	共著	2012年11月	漢方と最新治療 第21巻4号	宇野智子, 佐藤祐造,	pp.305-311
2. 2型糖尿病患者の食事療法における米粒状加工食品(マンナンヒカリ)の有用性に関する検討	共著	2013年 2 月	日本体質医学会 第75巻1号	宇野智子, 佐藤祐造,	pp.42-45
3. 特集：糖尿病―深化する疾患コンセプト 漢方薬療法：糖尿病の漢方治療―最新のエビデンス	共著	2013年 9 月	カレントセラピー 第31巻 9号	宇野智子, 北村伊都子, 佐藤祐造	pp.85-90
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 防風通聖散の2型糖尿病モデル(OLETF)ラットインスリン抵抗性改善のメカニズムに関する研究(報告)	共著	2013年 5 月	平成23年度東洋医学研究財団年次報告書	宇野智子, 小林亮平, 斎藤大蔵, 庄秋栄, 佐藤祐造	pp.12-17
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 学生に対する総合的な禁煙指導プログラムの試み～受動喫煙防止活動からの発展～	学会発表	2012年10月	第50回全国大学保健管理研究集会, 神戸	糠谷敬子, 外ノ池隆史, 森山恭子, 前田章, 宇野智子, 北村洋子, 大澤功	
2. 日本とアメリカ合衆国の大学生における歯科疾患の予防に対する意識と行動の比較	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	犬飼順子, 中條さやか, 高阪利美, 宇野智子, 中垣晴男	

3. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットのインスリン抵抗性における自発走運動と防風通聖散の併用効果	学会発表	2012年10月	第33回日本肥満学会, 京都	小林亮平, 宇野智子, 大澤功, 佐藤祐造	
4. Effect of pre/post rice consumption of milk and fermented soybean on posymeal glycemia and insulin responses in healthy students	学会発表	2013年3月	20th International Congress of Nutrition, Granada, Spain	K.Sueda, E.Sakai, T.Uno, Y.Sato	
5. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットにおける自発走運動と防風通聖散がインスリンシグナル伝達系のタンパク量に及ぼす影響	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会 年次学術集会, 熊本	小林亮平, 長崎大, 宇野智子, 大澤俊彦, 佐藤祐造	
6. 防風通聖散と身体トレーニングの併用が高脂肪食誘発インスリン抵抗性モデルラットに及ぼす影響	学会発表	2013年6月	第64回日本東洋医学会 学術総会, 鹿児島	小林亮平, 宇野智子, 佐藤祐造	
7. 糖尿病について	講演会	2013年2月	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社社内講演会, 第二富士ホテル	宇野智子	
8. 特別講演「医療連携について トラゼンタの可能性」(座長)	司会	2013年6月	宇野病院連携の会, 岡崎オーワホテル	宇野智子	
9. 防風通聖散の2型糖尿病モデル(OLETF)ラットインスリン抵抗性改善のメカニズムに関する研究(報告)	報告	2013年6月	第25回東洋医学に関する学術研究報告会, 名古屋市立大学薬学部	宇野智子, 小林亮平, 佐藤祐造	

## 大澤俊彦

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 未病診断とバイオマーカー, ニュートリゲノミクスを基盤としたバイオマーカーの開発—未病診断とテラーメイド食品開発に向けて—(大澤俊彦, 合田敏尚監修)	単著	2013年9月	シーエムシー		pp.11-20
B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. アンチエイジングを考えた食事アドバイス	単著	2012年10月	creabeaux (72)	大澤俊彦	pp.2-5
2. 酸化ストレスのコントロールと健全な食生活	単著	2012年11月	日本咀嚼学会誌, 22 (2)	大澤俊彦	pp.88-94
3. 老化制御におけるポリフェノール	単著	2012年11月	日本ポリフェノール学会誌 1 (2)	大澤俊彦	pp.7-18
4. レスベラトロールとポリフェノールの構造	単著	2012年12月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 8 (6)	大澤俊彦	pp.26-33
5. キノコ熱水抽出物の ESR スピントラップ法によるラジカル捕捉評価と ORAC 法	共著	2013年	日本食品科学工学会誌 60 (4)	菅野友美, 川村翔栄, 原田栄津子, 亀谷宏美, 鶴飼光子, 大澤俊彦	pp.173-178
6. Effect of the genistein metabolite on leptin secretion in murine adipocytes in vitro.	共著	2013年	Food Chem.138	Niwa, T., Yokoyama, S., Osawa, T.	pp.122-125
7. 超簡単フードファクター(第1回 フードファクターの誕生)	単著	2013年2月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9 (1)	大澤俊彦	pp.77-82
8. 超簡単フードファクター(第2回 抗酸化フードファクターの魅力)	単著	2013年4月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9 (2)	大澤俊彦	pp.87-93
9. 美味しさと健康を支える食環境	単著	2013年5月	日本歯科衛生教育学会雑誌, 4 (1)	大澤俊彦	pp.1-7

10. 超簡単フードファクター(第3回 フードファクターとしてのポリフェノールの魅力その1)	単著	2013年 6 月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9(3)	大澤俊彦	pp.87-93
11. 超簡単フードファクター(第4回 フードファクターとしてのポリフェノールの魅力その2)	単著	2013年 8 月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9(4)	大澤俊彦	pp.77-83
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 酸化ストレス制御と健康寿命	招待講演	2012年10月	フォーラム2012「衛生薬学・環境トキシコロジー」, 名古屋	大澤俊彦	
2. フェルラ酸の肥満・糖尿病における炎症抑制および酸化ストレス制御に関する研究	学会発表	2012年10月	日本農芸化学会中部支部第165回例会, 名古屋	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	
3. 健康寿命と食生活	招待講演	2012年11月	第11回犬山シンポジウム(家族の健康と食生活), 犬山	大澤俊彦	
4. 過重運動に対する機能性食品の有効性	招待講演	2012年11月	ヘルスフード・サプリメント EXPO2012, 東京	大澤俊彦	
5. 食の機能性 / 安全性評価を目的とした酸化ストレスバイオマーカーの開発	招待講演	2012年11月	第1回薬食国際カンファランス(ICPF2012), 静岡	大澤俊彦	
6. 健康寿命と食生活～攻めの栄養学に向けて	招待講演	2012年11月	平成24年度めいらく百寿会のつどい, 名古屋	大澤俊彦	
7. 期待される植物由来のフィトケミカル	招待講演	2012年11月	「ココ・カラ 和歌山」機能性フォーラム「日本人のココロとカラダに果物を」, 東京	大澤俊彦	
8. 美味しさと健康を支える食環境	招待講演	2012年12月	日本歯科衛生教育学会基調講演, 名古屋	大澤俊彦	
9. 抗酸化バイオファクターと健康長寿	招待講演	2012年12月	日本ビタミン学会公開講座「ビタミン, バイオファクターの魅力ある機能と, 健康へのその活用」, 名古屋	大澤俊彦	
10. 生活習慣病予防と健康食品素材の可能性	招待講演	2013年 2 月	NR 協会特別講演, 名古屋	大澤俊彦	
11. 抗酸化食品 緑茶について	招待講演	2013年 2 月	第66回全国お茶まつり静岡大会特別シンポジウム, 静岡	大澤俊彦	
12. フェルラ酸の2型糖尿病モデルマウスにおける炎症性遺伝子発現への影響	学会発表	2013年 3 月	日本農芸化学会2013年度大会, 仙台	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	
13. 食品と生命機能の関わり	招待講演	2013年 3 月	日本農芸化学会産官学フォーラム, 仙台	大澤俊彦	
14. アポリポタンパク C-II の凝集に及ぼす食品因子の影響	学会発表	2013年 3 月	日本農芸化学会大会, 仙台	丹羽利夫, 大澤俊彦	
15. 脳内老化制御と抗酸化フードファクタ	招待講演	2013年 5 月	日本栄養・食料学会大会特別講演, 名古屋	大澤俊彦	
16. フェルラ酸の2型糖尿病モデルにおける慢性炎症抑制機構の解明	学会発表	2013年 5 月	第67回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋	上野有紀, 西川佳那, 濱田愛, 山田雄太, 大池真央, 濱島佑弥, 池山将成, 大澤俊彦	

17. DHA increases abnormal alpha-synuclein and perturbs ubiquitin proteasome system. (多価不飽和脂肪酸はドーパミン神経細胞の過酸化およびリン酸化 alpha-synuclein を増加させるとともに ubiquitin proteasome system の機能を低下させる。)	学会発表	2013年 6 月	Neuro2013, 京都	Shamoto-Nagai Masayo, Hisaka Shinsuke, Osawa Toshihiko, Naoi Makoto, Kurokawa-Nose Yumi, Maruyama Wakako.	
18. 食品の機能でこの頃明らかになったこと	招待講演	2013年 6 月	日本食品安全協会総会 公開市民講座, 福岡	大澤俊彦	
19. 産官学連携による新規な機能性食品因子	招待講演	2013年 7 月	かがわ機能性食品開発研究会キックオフセミナー, 高松	大澤俊彦	
20. 抗酸化指標をベースにした新規機能性食品の研究開発	招待講演	2013年 7 月	「日本を健康にする！」研究会第4回シンポジウム, 愛知県日進市	大澤俊彦, 上野有紀, 望月美佳	
21. フィトケミカルの持つ機能性と健康	招待講演	2013年 9 月	「おいしい！健康わかやまの機能性フォーラム」, 東京	大澤俊彦	
22. Alpha-synuclein is catalyzed by autophagy, but DHA-induced oxidative stress activates other proteolysis system through production of modified proteins. (Alpha-synuclein の主たる分解系は autophagy であるが, 脂質酸化ストレス下では他の分解系が活性化される。)	学会発表	2013年 9 月	第86回日本生化学会大会, 横浜	Shamoto-Nagai Masayo, Hisaka Shinsuke, Osawa Toshihiko, Naoi Makoto, Minamiyama Makoto, Noboru Motoyama, Maruyama Wakako.	

## 酒井映子

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. A 県 T 市における肥満傾向児出現率の学校間較差と生活習慣との関連	共著	2013年 3 月	心身科学, 第5巻1号	大須賀恵子, 酒井映子, 飯田稔, 佐藤祐造	pp.7-16
2. 米飯の食後血糖に及ぼす牛乳・納豆の摂取時刻	共著	2013年 3 月	心身科学, 第5巻1号	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.63-71
3. 児童の6ヶ月間の発育状況と成果湯習慣との関連—体重増加群と体重増加不良群との比較—	共著	2013年 3 月	心身科学, 第5巻1号	酒井映子, 大須賀恵子, 中根恭子, 佐藤祐造	pp.73-81
4. 米飯の食後血糖上昇に及ぼす牛乳たんぱく質・脂質の影響	共著	2013年 6 月	日本病態栄養学会誌, Vol.16, No.2	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.191-198
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 肥満児童の6ヶ月間の発育状況と生活習慣との関連	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	酒井映子, 大須賀恵子, 中根恭子, 佐藤祐造	
2. 定期健康診断後6ヵ月間における体重増加不良群の体型と日常生活習慣との関連	学会発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	大須賀恵子, 酒井映子, 中根恭子, 佐藤祐造	
3. 第5分科会 母子保健・学校保健	一般演題 座長	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口		
4. 「やさしい栄養統計」	講演会	2012年10月	平成24年度愛知県栄養士会公衆衛生部会研修会, 名古屋		
5. I 県 T 市全小学2年生における肥満傾向児出現率の学校間較差と生活習慣との関連	学会発表	2012年11月	第59回日本学校保健学会, 神戸	大須賀恵子, 酒井映子, 佐藤祐造	
6. 年次別にみた生活習慣病ハイリスク者の糖質摂取状況と生活習慣要因との関連	学会発表	2013年 1 月	第16回日本病態栄養学会, 京都	酒井映子, 末田香里, 奥田みゆき, 佐藤祐造	



7. 米飯の食後血糖上昇に及ぼす牛乳たんばく質・脂質の影響	学会発表	2013年 1 月	第16回日本病態栄養学会, 京都	末田香里, 奥田みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	
8. 糖尿病⑦	一般演題座長	2013年 1 月	第16回日本病態栄養学会, 京都		
9. 大学生活と食事「コンビニ・外食はダメ？」	講義	2013年 3 月	スポーツ推薦入学者オリエンテーション		
10. 「やさしい栄養統計」	講演会	2013年 5 月	平成25年度愛知県春日井市保健所管内栄養士研修会, 春日井		
11. なぜ今, 食育なのか? ～食事と健康な成長をめざして～	講義	2013年 6 月	浜松学院中学校 食育講座		
12. ダイエットを科学する	講義	2013年 6 月	愛知高校生のためのオープンキャンパス		
13. 心と身体のリフレッシュ ～食事の自己管理～ 食事評価と野菜のとり方について	講義	2013年 7 月	平成25年度 教員免許状更新講習 講座 B3		
14. おとなのための食育 ～食べ方の知恵と工夫～	講演会	2013年 8 月	平成25年度 名古屋市教職員 健康教室, 名古屋		
15. 児童の発育状況と生活習慣との関連	学会発表	2013年 9 月	第60回日本栄養改善学会, 神戸	森岡亜有, 内藤正和, 末田香里, 酒井映子	
16. Nutrition Education Program to Promote Healthy Dietary Habits among Elementary Students	学会発表	2013年 9 月	20th International Congress of Nutrition, Granada	E. Sakai, A. Morioka, M. Nagasima, K. Sueda	
17. Effect of Pre/Post Rice Consumption of Milk and Fermented Soybean on Postmeal Glycemia and Insulin Responses in Healthy Students	学会発表	2013年 9 月	20th International Congress of Nutrition, Granada	K. Sueda, E. Sakai, T. Uno, Y. Sato	
18. 保育所・幼稚園における食育と評価～こどもの健全な成長をめざして～	講演会	2013年 9 月	平成25年度 食育指導者研修会東濃保健所, 多治見		

## 末田香里

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健常大学生における豆乳・納豆のセカンドミール血糖上昇抑制効果	共著	2012年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要第8号	末田香里, 奥田みゆき, 酒井映子	pp.53-58
2. 米飯の食後血糖に及ぼす牛乳・納豆の摂取時刻	共著	2013年 3 月	心身科学 第5巻1号	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.63-71
3. 米飯の食後血糖上昇に及ぼす牛乳たんばく質・脂質の影響	共著	2013年 6 月	日本病態栄養学会誌第16巻2号	末田香里, 伊藤みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.191-198
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 牛乳・納豆の米飯摂取の血糖上昇抑制効果—摂取時刻の検討—	学会発表	2013年 1 月	第16回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	末田香里, 奥田みゆき, 酒井映子, 佐藤祐造	
2. 年次別にみた生活習慣病ハイリスク者の糖質摂取状況と生活習慣要因との関連	学会発表	2013年 1 月	第16回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	酒井映子, 奥田みゆき, 末田香里, 佐藤祐造	
3. Effect of pre/post rice consumption of milk and fermented soybean on postmeal glycemia and insulin responses in healthy students	学会発表	2013年 9 月	第20回国際栄養学会, グラナダ	Kaori Sueda, Miyuki Ito, Eiko Sakai and Yuzo Sato	

## 恒川小百合

D（学会発表等）					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 大学生の食生活とコンビニエンスストアの利用状況について	示説 発表	2013年 9 月	日本栄養改善学会, 神戸	恒川小百合, 井澤幸子	

## 服部恵美

D（学会発表等）					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 管理栄養士養成大学生1,000名における震災時栄養士活動に対する認識・意識等の検討2ー現状と期待ー	学会 発表	2013年 9 月	第60回日本栄養改善学会学術総会, 神戸	服部恵美, 村田早紀, 太田たかこ, 栗山孝雄, 佐々木裕子, 先崎和子, 高橋睦子, 塚原丘美, 北森一哉, 吉澤和子, 仲森隆子, 森圭子	

## 望月美佳

D（学会発表等）					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明したアントシアン類の機能性	学会 発表	2013年 3 月	2013年度日本農芸化学会(平成25年度)大会	数村公子, 佐藤由紀子, 里園浩, 望月美佳, 吳曉紅, 土屋広司, 小池隆, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	
2. 新規食品機能性評価法を用いた食品の抗酸化機能性	講演 会発表	2013年 7 月	第4回シンポジウム「抗酸化指標をベースにした新規機能性食品の研究開発」日本を健康にする！研究会	望月美佳, 数村公子, 伊藤友美, 吳曉紅, 大澤俊彦	
3. daidzein からヒト由来腸内細菌により得られる O-desmethylangolensin の絶対立体構造	学会 発表	2013年 9 月	第60回日本栄養改善学会学術総会	猪股恵莉, 平 亜佐子, 望月美佳, 丹羽利夫	

## 森 圭子

B（論 文）					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 空腹感の頻度と食行動に関する検討	共著	2013年 2 月	日本体質医学会, 第75巻1号	仲森隆子, 都島基夫, 渡邊智之, 森圭子, 佐藤祐三	pp.46-53
2. 増えない野菜摂取増に向けての研究ーカット野菜についてー	共著	2013年 3 月	心身科学, 第5巻第1号	森圭子, 宮田真衣子, 国枝紗希, 伊藤里美, 久世訓, 高林慶子, 佐藤祐造	pp.83-93
D（学会発表等）					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会事業「せとめし開発委員会」	会議	2012年10月 9 日	瀬戸市	森圭子	

2. 増えない野菜摂取増に向けての研究－カット野菜について－	ポスター発表	2012年10月10日	日本公衆衛生学会, 山口	森圭子, 佐藤祐造	
3. いきいき健康教室「元気をつづけるための食生活」	講演	2012年11月1日	豊山町, 社会福祉センター	森圭子	
4. 平成24年度名古屋健康カレッジ「美味しく食べて, 健康になる方法」	講演	2012年11月2日	ユメリア徳重, 名古屋市緑区	森圭子	
5. 第4回東名古屋健康カレッジ「手軽な副菜料理から生活習慣病予防を」	講義と調理実習	2012年11月10日	愛知学院大学14号館	森圭子	
6. 平成24年度介護予防事業つるかめ教室第5回「シニアの食生活」	講話	2012年11月22日	名古屋市, 昭和保健所	森圭子	
7. 平成24年度介護予防事業つるかめ教室第6回「シニアの食生活」	講話	2013年1月24日	名古屋市, 昭和保健所	森圭子	
8. 平成24年度第1回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議(学校給食への農産物供給システムの構築と地産地消推進計画策定検討)	座長	2013年1月	瀬戸市役所	森圭子	
9. 平成24年度東海農政局自給率向上研究会(第7回)基調講演「ごはん食の優位性について」	講演	2013年2月	愛知学院大学14号館	森圭子	
10. 食料自給率あげるには「外食チェーン調査, 向上レシピ提案」	新聞	2013年2月	中日新聞名古屋東版	森圭子	
11. 自給率向上しなやかに「外食, 弁当, いかが?」	新聞	2013年2月	日本農業新聞	森圭子	
12. 平成24年度第2回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議	2013年2月	瀬戸市役所	森圭子	
13. 平成24年度介護予防事業つるかめ教室第6回「シニアの食生活」	講話	2013年3月	名古屋市, 昭和保健所	森圭子	
14. 平成24年度第3回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議	2013年3月	瀬戸市役所	森圭子	
15. スープジャーを使って, 簡単ヘルシー, ダイエット	テレビ	2013年4月	NHK 名古屋「ほっとイブニング」	森圭子	
16. スープジャーレシピのポイント	テレビ	2013年4月	中京テレビ「キャッチ」	森圭子	
17. 平成25年度食生活充実事業「シニアのための楽々お食事サロン」	講話	2013年5月	名古屋市東保健所	森圭子	
18. 平成25年度介護予防事業つるかめ教室第1回「シニアのみなさんの食生活」	講話	2013年5月	名古屋市, 昭和保健所	森圭子	
19. 平成25年度 東海農政局における農村振興施策に関する選定審査委員会	会議	2013年6月	東海農政局	森圭子	
20. 平成25年度介護予防事業つるかめ教室第2回「シニアのみなさんの食生活」	講話	2013年6月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
21. 第5回薬局における健康フェア「生活習慣病を予防する食事－脂質について」	講話	2013年7月	ドラッグスギヤマ庄中店, 尾張旭市	公衆栄養学ゼミナール, 森圭子	
22. 平成25年度 第1回 東海農政局と地域の交流促進対策交付金評価委員会	会議	2013年7月	東海農政局, 岐阜県山形市	森圭子	
23. 平成25年度豊山町豊寿大学「低栄養予防と転倒予防の食生活」	講演	2013年8月	豊山町社会教育センター	森圭子	
24. 平成25年度介護予防事業つるかめ教室第3回「シニアのみなさんの食生活」	講話	2013年8月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
25. 平成25年度 第2回 東海農政局と地域の交流促進対策交付金評価委員会	会議	2013年8月	東海農政局	森圭子	
26. 地域住民の災害への意識及び家庭の非常食に関する研究－栄養学的検討－	ポスター発表	2013年9月	日本栄養改善学会, 神戸	森圭子, 佐藤祐造	



27. 管理栄養士養成大学生約1,000名における震災時栄養士活動に対する認識・意識等の検討1—地域差	ポスター発表	2013年9月	日本栄養改善学会, 神戸	村田早紀, 太田たかこ, 栗山孝雄, 佐々木裕子, 先崎和子, 高橋睦子, 塚原丘美, 北森一哉, 吉澤和子, 仲森隆子, 森圭子	
28. 管理栄養士養成大学生約1,000名における震災時栄養士活動に対する認識・意識等の検討2—現状と期待	ポスター発表	2013年9月	日本栄養改善学会, 神戸	服部恵美, 村田早紀, 太田たかこ, 栗山孝雄, 佐々木裕子, 先崎和子, 高橋睦子, 塚原丘美, 北森一哉, 吉澤和子, 仲森隆子, 森圭子	
29. 東海農政局と愛知学院大学との連携授業「我が国の食料事情について」	主催	2013年9月	愛知学院大学14号館	森圭子	
30. 平成25年度食生活充実事業「シニアのための楽々お食事サロン」	講話	2013年9月	名古屋市東保健所	森圭子	

## 渡邊智之

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 地域在住高齢者の認知機能と身体活動との関連性 —4年間の縦断調査の結果から—	共著	2012年11月	日本老年医学会雑誌, 49(6)	小長谷陽子, 渡邊智之, 太田壽城	pp.752-759
2. Prognosis of mature T cell lymphoma is poorer than that of diffuse large B cell lymphoma in IPI low-risk group, but not in intermediate- and high-risk groups	共著	2012年12月	International Journal of Hematology	R Kihara, T Watanabe, T Yano, N Uike, S Okamura, F Kawano, S Hanada, K Sunami, N Inoue, M Sawamura, S Yoshida, T Shimomura, K Kitano, Y Kojima, K Horibe, H Nagai	DOI 10.1007/s12185-012-1243-2
3. 地域在住高齢者の認知機能と社会参加との関連性 —社会活動および社会ネットワークを中心として—	共著	2013年1月	Dementia Japan, 27(1)	小長谷陽子, 渡邊智之, 小長谷正明	pp.81-91
4. 空腹感の頻度と食行動に関する検討	共著	2013年2月	日本体質医学会雑誌, 75(1)	仲森隆子, 都島基夫, 渡邊智之, 森圭子, 佐藤祐造	pp.46-53
5. Simultaneous measurement of lens accommodation and convergence in natural and artificial 3D vision	共著	2013年3月	Journal of the Social for Information Display	T Shiomi, K Umemoto, T Kojima, S Sano, H Ishio, H Takada, M Omori, T Watanabe, M Miyao	DOI 10.1002/jsid.156
6. Excess treatment reduction including anthracyclines results in higher incidence of relapse in core binding factor acute myeloid leukemia in children (Letter to the editor)	共著	2013年6月	Leukemia	D Tomizawa, A Tawa, T Watanabe, AM Saito, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, A Shimada, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Koh, H Kigasawa, Y Kosaka, H Miyachi, K Horibe, T Nakahata, S Adachi	DOI 10.1038/leu.2013.153

7. Risk factors for the occurrence of spina bifida (a case-control study) and the prevalence rate of spina bifida in Japan	共著	2013年9月	Birth Defects Research (Part A): Clinical and Molecular Teratology, 97(9)	A Kondo, N Morota, S Ihara, T Saisu, K Inoue, S Shimokawa, H Fujimaki, K Matsuo, Y Shimosuka, T Watanabe	pp.610-615
8. 総論 糖尿病運動療法の流れ	共著	2013年9月	臨床スポーツ医学, 30(10)	佐藤祐造, 渡邊智之, 荒川聡美	pp.923-929
9. Appropriate Dose Modification in Induction Therapy is Essential for the Treatment of Infants with Acute Myeloid Leukemia: A Report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group	共著	2013年9月	International Journal of Hematology	D Tomizawa, A Tawa, T Watanabe, A M Saito, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, A Shimada, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Isoyama, S Mizutani, J Hara, H Miyachi, K Horibe, T Nakahata, S Adachi	DOI 10.1007/s12185-013-1429-2

D (学会発表等)

著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 地域在住高齢者の日常生活状況の縦断的变化—2002～2010年の生活実態調査から—	学会 発表	2012年10月	第71回日本公衆衛生学会総会, 山口	渡邊智之, 小長谷陽子	
2. The effect of KIR-ligand mismatched SCT for infantile ALL with MLL gene rearrangement: a report from the Japanese Pediatric Leukemia/ Lymphoma Study Group (JPLSG) MLL03 study	学会 発表	2012年12月	第54回日本小児血液・がん学会学術総会, 横浜	T Miyamura, M Hirayama, T Watanabe, K Sugita, E Ishii, K Koh, K Kato, A Saito, K Horibe, M Tsurusawa, D Tomizawa	
3. Excess reduction of anthracyclines results in inferior event-free survival in core binding factor acute myeloid leukemia in children; a report from the Japanese Pediatric Leukemia/ Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会 発表	2012年12月	2012 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, Atlanta, USA	D Tomizawa, A Tawa, T Watanabe, A Moriya Saito, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, A Shimada, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Koh, H Kigasawa, Y Kosaka, H Miyachi, K Horibe, T Nakahata, S Adachi	
4. Appropriate dose modification in induction therapy is essential for the treatment of infants with acute myeloid leukemia; a report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会 発表	2012年12月	2012 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, Atlanta, USA	D Tomizawa, A Tawa, T Watanabe, A Moriya Saito, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, A Shimada, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Koh, H Kigasawa, Y Kosaka, H Miyachi, K Horibe, T Nakahata, S Adachi	

5. Attempts to Optimize Post-Induction Treatment in Childhood Acute Myeloid Leukemia without Core Binding Factors: A Report From the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会発表	2012年12月	2012 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, Atlanta, USA	D Hasegawa, A Tawa, D Tomizawa, T Watanabe, A Saito, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, A Shimada, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Koh, H Kigasawa, Y Kosaka, H Miyachi, K Horibe, T Nakahata, S Adachi	
6. Myelodysplasia-Related Changes Have Adverse Prognostic Significance in Children with Acute Myeloid Leukemia; A Report From the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group (JPLSG)	学会発表	2012年12月	2012 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, Atlanta, USA	A Kinoshita, H Miyachi, H Matsushita, M Yabe, T Taki, T Watanabe, A Saito, D Tomizawa, N Kiyokawa, T Taga, T Deguchi, Y Hashii, K Terui, H Takahashi, Y Hayashi, A Tawa, K Horibe, S Adachi	
7. 糖尿病患者の運動実施に与える影響因子に関する検討	学会発表	2013年3月	第17回日本体力医学会東海地方会学術大会, 名古屋	荒川聡美, 渡邊智之, 小林亮平, 服部雅人, 池山将成, 内藤正和, 藤弘吏, 長崎大, 大澤功, 齊藤満, 佐藤祐造	
8. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第三報)―糖尿病患者の運動療法実施に影響を与える因子について―	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	荒川聡美, 渡邊智之, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大沢功, 田村好史, 佐藤祐造	
9. Dual 生体インピーダンス法による腹部内臓脂肪蓄積に及ぼす生活習慣と食習慣の影響についての研究	学会発表	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	仲森隆子, 村田和也, 門口紅, 西浜康太, 金児竜太郎, 井田諭, 藤原僚子, 高橋宏佳, 渡邊智之, 佐藤祐造	
10. 下肢の運動器疾患を伴う患者に対する運動療法: チーム医療体制による実施	シンポジウム	2013年5月	第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本	横地正裕, 吉田和仁, 渡邊智之, 佐藤祐造	
11. 地域在住高齢者の認知機能スクリーニングのための時計描画テスト	学会発表	2013年5月	第54回日本神経学会学術大会, 東京	小長谷陽子, 渡邊智之, 小長谷正明, 柳務	